



所内第3回 写真コンクール 入選作「量質ともに日本一」  
地質部 蔵田 延 男

## 量 質 と も に 日 本 一

箱根火山の東麓 神奈川県南足柄町の一角に 黒色の火山砂礫に混つて白色の軽石が 水底からむくむくと噴き上がっている湧泉があつた。 古来人々は「清左エ門地ごく」と称して 恐れ敬い そして探勝の対象となつていた。

10年程前行つたときに 私は長い竹ざおを入れてどのくらいの深さまで竹が入るか 恐る恐る池の岸からためしたことがあつた。 そのときの記憶では 5~6m の竹ざおがすつかり渦の中に没して白色の軽石の出口が目立つて増えたのをおぼえている。

フィルム工業のために多量の良水を求めてやまない富士写真フィルム K.K. 足柄工場は 従来の湧泉水源からの水量で間に合わなくなり この清左エ門地ごくに大きな井戸枠を入れて 湧き井戸に「改造」した。 こうして昭和29年以来同工場の第2水源池となつて 自然流下で工場まで導かれ 南足柄町の地質学的観光資源は世界を相手の本邦写真工業になくってはならない重要水源と変貌したのである。

湧出量優に 50,000 m<sup>3</sup>/日 水温 15~16°C 自然流下 数百mで 用水現場に供給される。 水質は固形分が100 rpm 前後となつているが 「工業用水」として まずは量質ともに「日本一」と称して過言ではない。

## 創立75周年スポット・ニュース

わが国最初の地質図は 明治9年(1876)に出版された北海道全体の 200万分の1「日本蝦夷地質要略の図」である また地質図幅としては明治18年(1885)に出版された 20万分の1「伊豆図幅」がその最初である

### ・・・地質調査所の出版物・・・

#### ○ 地質調査所月報 (第8巻 第6号)

##### 報 文

蔵田 延男・村下 敏夫・後藤 準次・阿部 喜久男：  
尼崎市工業用水源小規模地域調査報告  
淀川水系地域調査 第1報

柴藤 喜平・小谷 良隆：山口県桜郷鉾山付近の電気  
および磁気探鉱調査報告

##### 概 報

小松 疆・上野 三義・土井 啓司：鳥取県八頭郡  
下のマンガン鉾床調査報告  
稲井 信雄：熊本県三陽鉾山調査報告

##### 資 料

粘土の化学的組成の発達史  
沼カスビス海低地北部の地下水の水  
理化学的様式の予知法則について

#### ○ 地質調査所月報 (第8巻 第7号)

##### 報 文

徳永 重元：花粉分析研究におけるホール ソート シ  
ステムの応用

河野 義礼：早川 正巳・佐野 凌一・角 清愛：  
秋田県玉川温泉地質調査および放射能探  
査報告

佐野 凌一：栃木県足尾鉾山放射能探査報告

村岡 秀記：青森県南津軽郡大釈迦地区地震探鉱調査  
報告

##### 概 報

清原 清人：熊本県鹿市北方一帯の滑石鉾床調査報  
告

##### 雑 報

福岡県恒見地区ドロマイト鉾床調査報告

岡山県山手鉾山・柵原鉾山中間区域の地質概査報告

##### 資 料

酸性火成岩を母岩とするウラン鉾床の  
地質学的特性とその探査方法について